

# 令和5年度 学力調査結果について

東久留米市立第五小学校

## 【国語】

「B 書くこと」、「C 読むこと」において、本校平均正答率が全国平均及び東京都平均を上回っています。目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめたりすることができています。しかし、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」において、本校平均正答率が全国平均及び東京都平均を下回っています。学年別漢字配当表に示されている漢字を、意味や送り仮名に注意して文中で正しく使うことや、日常よく使われる敬語については理解を深める必要があります。

高学年は、漢字による熟語などの語句の使用が一層増加する時期です。文や文章を書く際には、例えば「収める」、「納める」、「修める」、「治める」などの同音異義語に注意するなど、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが重要です。また、日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことで、これらの力は伸びると考えます。今後も支援を続けていきます。

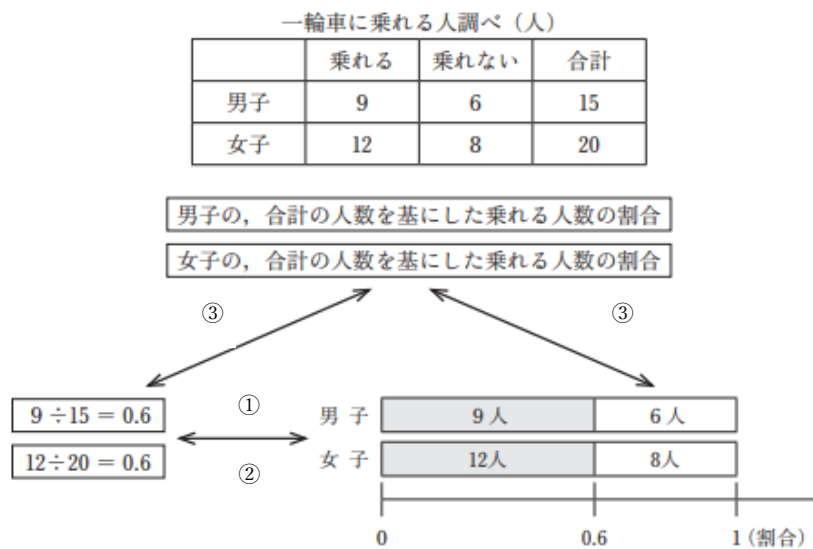
分類		区分	平均正答率(%)		
			本校	東京都(公立)	全国(公立)
全体			68	69	67.2
学習指導要領 の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や 使い方に関する 事項	69.8	73.6	71.2
		(2)情報の扱い方 に関する事項	69.7	66.5	63.4
	思考力・判断 力・表現力	A 話すこと・聞 くこと	70.8	73.5	72.6
		B 書くこと	33.7	28.9	26.7
		C 読むこと	74.7	73.2	71.2
評価の観点	知識・技能		69.8	71.6	68.9
	思考・判断・表現		67.2	67.0	65.5

なお、知識及び技能 (3)我が国の言語文化に関する事項 に関する問題は出題されませんでした。

【算数】

「D データの活用」において、本校平均正答率が全国平均及び東京都平均を上回っています。示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することや、二次元表から条件に合う数を読み取ることができました。しかし、「C 変化と関係」、「A 数と計算」において、本校平均正答率が全国平均は上回っているものの、東京都平均を下回っています。百分率で表された割合や、分配法則を用いて答えを出したり、筆算を用いて(2位数)÷(1位数)の計算をしたりすることについては理解を深める必要があります。

割合では、基準とする数量の大きさを適宜決めて、それを単位として用いています。基準量を1としたときに、割合が小数で表される場合、割合をなるべく整数で表すために、基準量を100として、それに対応する割合で表す方法が百分率です。二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を割合を用いて比べる場合、百分率による割合の表し方を理解し、百分率を求めたり、用いたりすることができるようになることが必要です。日常生活でも、「3ポイントシュートの成功率が40%を超えた」、「定価の25%引きで買った」など、確定的な事象の関係を表すことに用いられており、百分率は割合の便利な表現であることに気付いている児童は少なくありません。指導にあたっては、①図で表した関係を式にしたり、②式に表した関係を図に表したり、③図や式の意味を言葉で説明したりする活動<sup>1</sup>を取り入れ、言葉と図や式を関連付けられるようにすることで、力を伸ばしていきたいと考えます。



分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	東京都(公立)	全国(公立)
全体		66	67	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	69.1	71.0	67.3
	B 図形	52.9	54.8	48.2
	C 変化と関係	73.6	75.8	70.9
	D データの活用	69.6	67.3	65.5
評価の観点	知識・技能	70.4	71.5	67.2
	思考・判断・表現	60.3	61.2	56.5

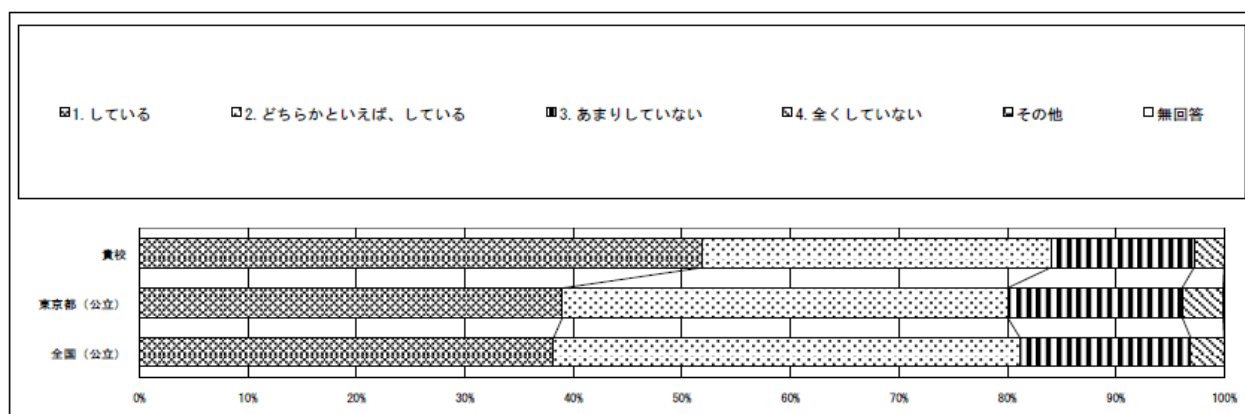
<sup>1</sup> 【算数編】 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 p.270

## 【児童質問紙調査】

児童質問紙調査では、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査が行われました。

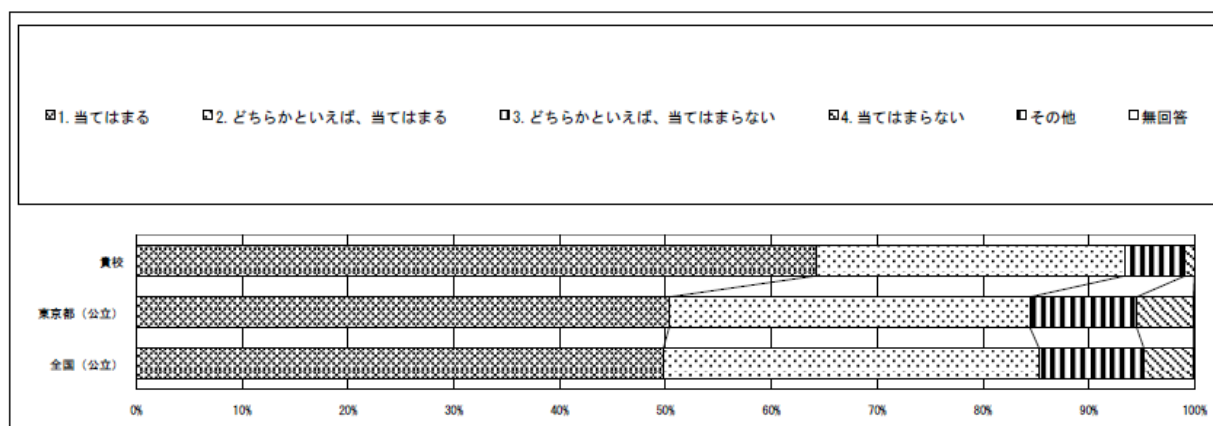
「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」等、生活習慣に関する質問では、「している」「どちらかといえば、している」と肯定的に答えた児童の割合が全国平均及び東京都平均を上回っており、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かります。ご家庭での指導・声掛けをしていただいていることの表れかと思えます。

質問番号	質問事項										
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	51.9	32.1	13.2	2.8						0.0	0.0
東京都(公立)	39.0	41.0	16.1	3.8						0.0	0.1
全国(公立)	38.1	42.9	15.7	3.1						0.0	0.0

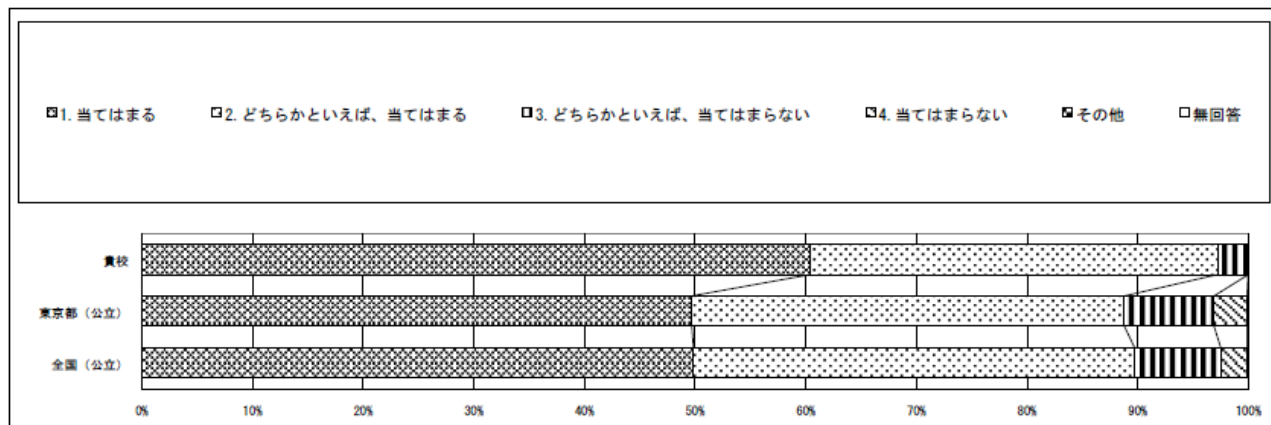


また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合が全国平均及び東京都平均を上回っており、学校生活に対する好意的な回答が多く、結果として学習に対する意欲が高まっていると考えられます。今後も一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることができるよう、様々な場面で資質・能力を育成していきたいと考えます。

質問番号	質問事項										
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	64.2	29.2	5.7	0.9						0.0	0.0
東京都(公立)	50.4	34.1	10.1	5.4						0.0	0.1
全国(公立)	49.8	35.5	9.9	4.7						0.0	0.1

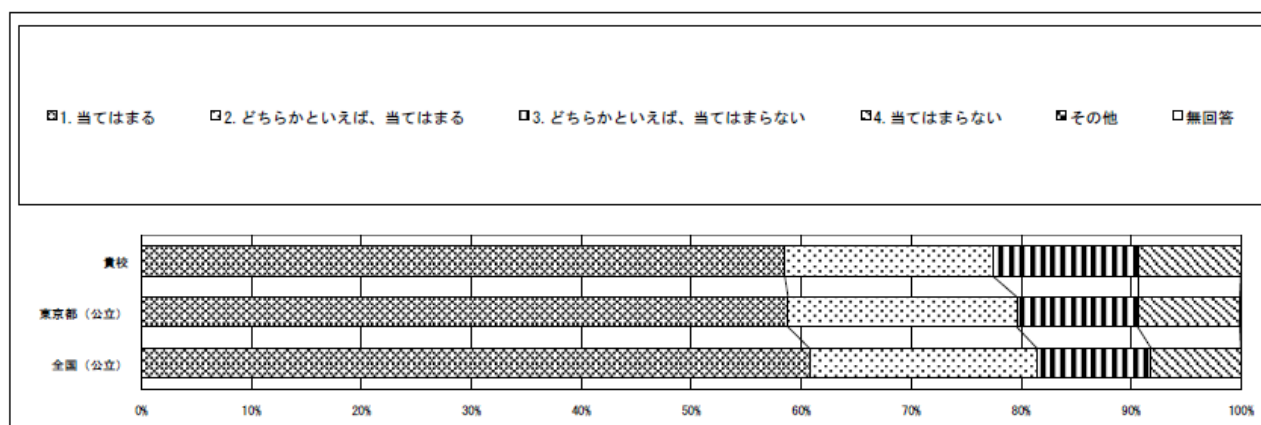


質問番号	質問事項										
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	60.4	36.8	2.8	0.0						0.0	0.0
東京都（公立）	49.7	39.1	8.1	3.0						0.0	0.1
全国（公立）	49.9	39.9	7.8	2.4						0.0	0.1



しかし、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問では、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」と否定的に答えた児童の割合が全国平均及び東京都平均を上回っています。二学期以降、総合的な学習の時間において「仕事人 自分探しプロジェクト」という活動を取り入れます。様々な職業について調べ、実際に話を聞きながら、将来について考えることができる活動です。ご家庭でも、将来の夢や目標について、折に触れてお話いただけますと幸いです。

質問番号	質問事項										
(7)	将来の夢や目標を持っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	58.5	18.9	13.2	9.4						0.0	0.0
東京都（公立）	58.8	20.8	11.0	9.3						0.0	0.1
全国（公立）	60.8	20.7	10.4	8.2						0.0	0.0



（児童質問紙調査の結果については、一部抜粋を行っています。）

#### 【個人票について】

先日、個人票を返却いたしました。個人票には、問題の正答数だけでなく、全国正答率、学習した学年、学習指導要領における領域、問題の形式が記載されています。得点だけにこだわるのではなく、間違えた問題の領域や観点などを十分に振り返り、見直しをしておくことが大切です。